

写真でよみがえる50年 vol. 12



入学式に先駆けて行われた南中学校の開校式（昭和57年4月）

ふるさと
白岡紀行

小・中学校の新設



開校当初は校庭が整備中だった白岡東小学校（平成7年）

町内には、小学校が6校、中学校が4校あります。このうち、昭和29年の白岡町誕生後に開校した小学校は、昭和50年に南小学校、同53年に西小学校、平成7年に白岡東小学校です。中学校では、昭和57年に南中学校、平成2年に白岡中学校が開校し、小・中学校合わせて5校が開校しました。また、昭和52年には県立白岡高等学校も開校しました。

それぞれの学校では、校風と伝統をたいせつにしながら、特色のある学校の実現と、次代を担う児童・生徒の育成に努めています。

町制施行50周年に当たり、昨年4月号から連載を開始した「写真でよみがえる50年」は、今月号をもって終了となります。一年間ありがとうございました。

本校では、「読む・書く・計算」が生きる力の基礎・基本と考え、その習得に力を入れています。「計算」では、授業や業前の学習の時間などに百マス計算、計算ドリルの練習に取り組んでいます。「読む・書く」については、平成15・16年度に教育委員会から研究指定を受け、国語学習の研究に取り組んできました。繰り返し漢字学習プリントの練習、漢字カード



校庭の空を勇壮に泳ぐ鯉のぼり

わが校自慢

篠津小学校

の掲示、読書カードの作成、たくさん本を読んだ読書自慢の表彰などを実践しています。

また、書くこととともに豊かな心の育成のため、毎月17日を俳句の日として、俳句の創作活動に取り組んでいます。各クラス6点を選び、句評も入れて全児童に配布しています。また、一般の俳句募集にも投稿し、多数入賞しています。

俳句作りのことも考慮し、季節感のある活動を取り入れています。4・5月には、地域のかたから頂いた鯉のぼりが校庭の空に何匹も相引きます。7月には、地域のかたから頂いた竹に七夕飾りを作ります。地域から発見された古代蓮の栽培。10月からボランティアを募集しての校庭の落ち葉はき。12月には地域のかたを指導者にお招きし、門松づくりをしています。本校は、このように地域の人びとに支えられた教育活動が行われています。



児童手づくりの「門松」